

片山杜秀

岡田暁生

いまだ続くコロナ禍に揺れる音楽界。
音楽はどこへ向かうのか？
いち早く警鐘を鳴らした『音楽の危機』の著者・岡田暁生と
音楽評論家・片山杜秀が、〈音楽Ⅱ音楽ホールの行方〉と
その現状を探る対談。

リーデンローズ・アカデミー

音楽の

危機

これからの音楽ホールはどうなるのか？



作田忠司

2022年4月15日(金)

19:00開演(18:30開場)

リーデンローズ 小ホール

入場料 / 全席自由 1,000円(税込)

※未就学児入場不可

【出演】岡田暁生(音楽学者・京都大学人文科学研究所教授)

片山杜秀(音楽評論家・慶應義塾大学法学部教授
三原市芸術文化ホール ポポロ館長)

【進行】作田忠司(リーデンローズ館長)

【チケット取扱所】

リーデンローズチケットセンター TEL084-928-1810

三原市芸術文化センター ポポロ

スガナミ楽器本店、久松レコード、フジグラン神辺
TSUTAYA(新涯店、伊勢丘店、松永店、府中高木店)

ローソンチケット Lコード 63110

チケットぴあ Pコード 647-683

主催 / 公益財団法人ふくやま芸術文化財団

【お問い合わせ】

リーデンローズ TEL084-928-1810

〒720-0802 広島県福山市松浜町二丁目1番10号

※やむを得ぬ事情により記載内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

おかだ あけお
岡田暁生

1960年、京都府生まれ。音楽学者、京都大学人文科学研究所教授。
大阪大学大学院博士課程単位取得満期退学、1991年までミュンヘン大学およびフライブルク大学に留学。

2001年に『オペラの運命』でサントリー学芸賞受賞、2009年に『ピアニストになりたい!』で芸術選奨新人賞、『音楽の聴き方』で吉田秀和賞受賞。十九世紀のオペラおよびピアノ音楽の研究から出発し、近年ではジャズ史とも取り組んでいる。

近刊に『モーツァルト』(ちくまプリマー新書)およびコロナ時代の音楽を論じた『音楽の危機』(中公新書・小林秀雄賞受賞)が話題を呼んだ。

かたやま もりひで
片山杜秀

慶應義塾大学法学部教授、音楽評論家、三原市芸術文化ホール ポポロ館長。

1963年生まれ。若い頃より朝日新聞、産経新聞、レコード芸術、CDジャーナル等で音楽評を執筆。現在は、『週刊新潮』連載や朝日新聞のクラシック音楽評等を担当している。また、ラジオ番組「クラシックの迷宮」(NHK-FM毎週土曜日放送中)のパーソナリティとしても活躍中で、この他にも音楽関係書の執筆やテレビ出演等、多方面で活動中である。

現在、三原市芸術文化ホール「ポポロ」館長を務め、そのことが音楽関係ほかのメディアにも大きく取り上げられている。吉田秀和賞、小林秀雄賞、尾高賞、サントリー音楽賞、サントリー学芸賞、佐治敬三賞の選考委員。

【主な受賞歴】

2006年「戦前日本の作曲界の研究」で京都大学人文科学研究所より人文科学研究協会賞受賞

2008年「音盤考現学」「音盤博物誌」で吉田秀和賞およびサントリー学芸賞受賞

2012年『未完のファンズム―「持たざる国」日本の運命』で司馬遼太郎賞受賞

※お客様にお願い
新型コロナウイルス感染症の予防のため、咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒、社会的距離の確保にご協力をお願いします。また、次の症状に該当する方のご来場はお控えください。

【熱・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐】
お客様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。